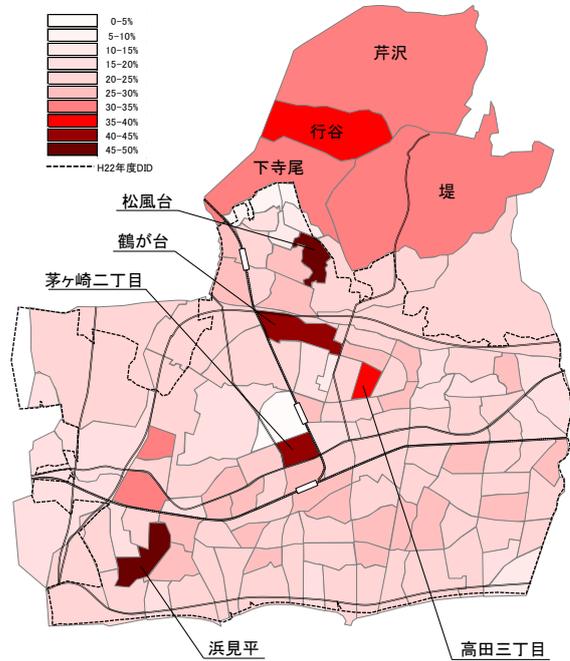


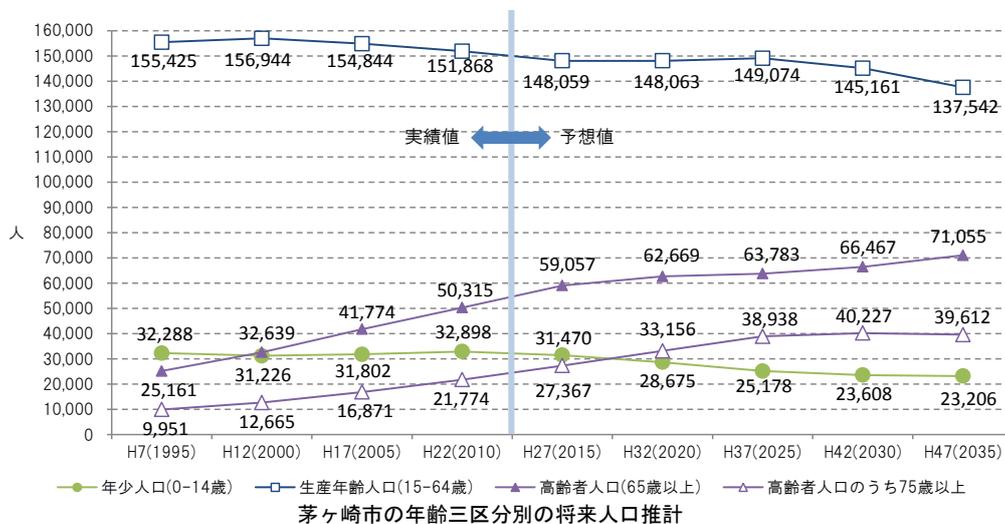
茅ヶ崎市 「豊かな長寿社会に向けたまちづくり基本方針」 (概要)

1 背景・経過

- 本市の高齢化率は、平成 26 年 4 月 1 日現在で 23.59% となっていますが、昭和 30 年代後半から 40 年代前半に開発された団地や住宅地では、高齢化率が 40% を超えている地区もあります。
- また、本市の人口は、平成 32 年の 239,407 人をピークに減少に転じると推計されておりますが、高齢者人口は 32 年以降も依然として増加傾向にあり、47 年には 22 年の約 1.4 倍の 71,000 人を超えると推計されています。特に、団塊の世代が後期高齢者に突入する 37 年以降には後期高齢者が 39,000 人を超えるため、このような人口構造に対応した施策が求められています。
- 現状では団塊の世代が後期高齢者となる平成 37 年に向けた対応が充分であるとは言い難く、既存の様々な取り組みにおいて更なる高齢化への対応を図るとともに、次の時代を見据えた仕組みの構築を進めていくことが必要となっていることから、平成 25 年 10 月から平成 26 年 8 月まで「豊かな長寿社会に向けたまちづくり有識者会議」を開催し、有識者のアドバイスを受けながら高齢化がまちづくり、地域社会に与える影響や今後必要な取り組みについて、広範にわたり、総合的な検討を進めました。
- 有識者会議のご意見を基に、庁内での意見交換、市民の皆様からの意見聴取を経て、平成 27 年 2 月に「豊かな長寿社会に向けたまちづくり基本方針」を策定しました。



平成 26 年 4 月現在の茅ヶ崎市内の町丁字別高齢化率



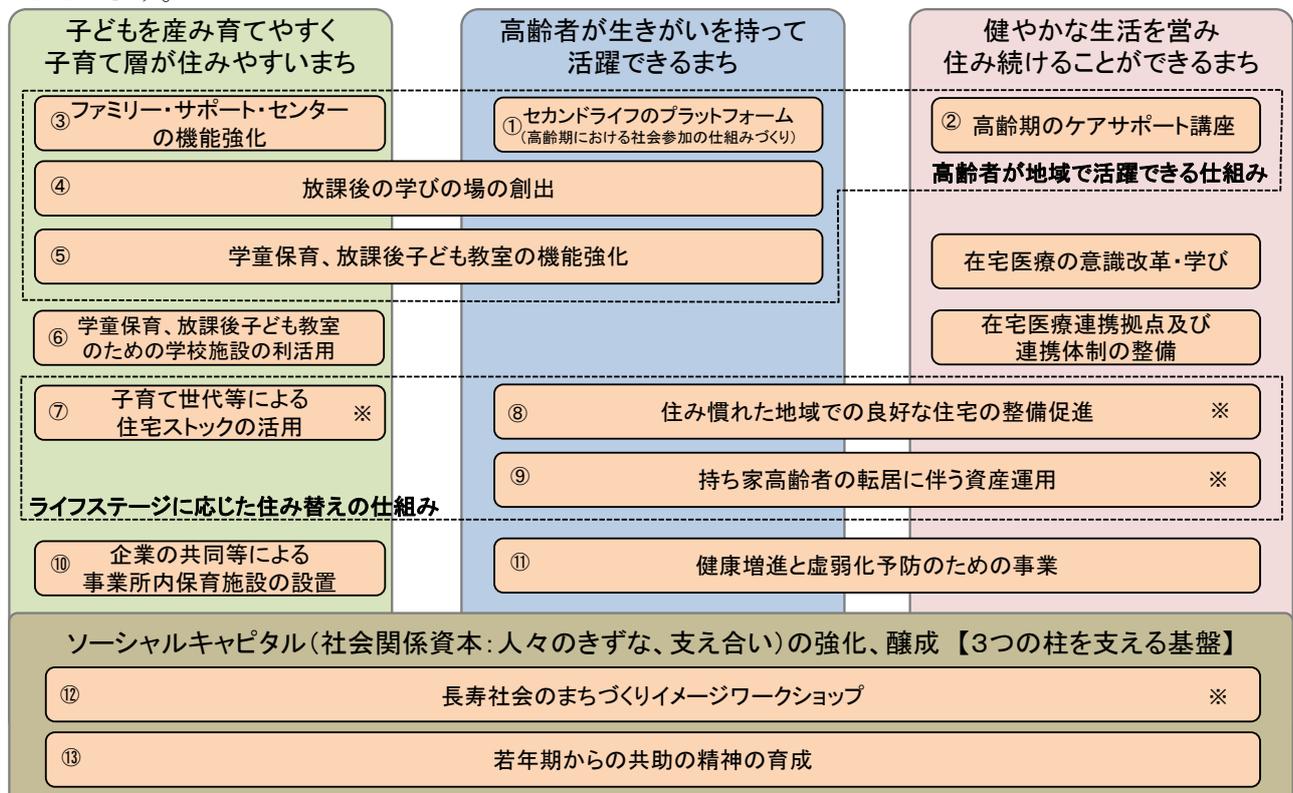
茅ヶ崎市の年齢三区分別の将来人口推計

■豊かな長寿社会に向けた有識者会議メンバー

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 秋山 弘子氏 (東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授) | 藤井 美文氏 (文教大学 教授) |
| 辻 哲夫氏 (東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授) | 杉本 洋文氏 (東海大学 教授) |
| 秋山 美紀氏 (慶應義塾大学環境情報学部 准教授) | 丸山 徳二氏 (茅ヶ崎医師会 会長) |
| 亀井 信幸氏 (茅ヶ崎商工会議所 副会頭) | |

2 豊かな長寿社会の将来像と事業推進の考え方

- 基本方針では、豊かな長寿社会の将来像を「元気で、自分らしく、生涯暮らせるまち 湘南 茅ヶ崎」と設定し、将来像を実現するために、「子どもを産み育てやすく 子育て層が住みやすいまち」、「高齢者が生きがいを持って活躍できるまち」、「健やかな生活を営み 住み続けることができるまち」の3つの施策の柱と、それらを支える基盤として「ソーシャルキャピタル（社会関係資本：人々のきずな、支え合い）の強化、醸成」を掲げています。
- 3つの施策の柱とそれを支えるための基盤に対応して、平成27年度から随時、次の事業を推進することを計画しています。主な取り組みとしては、高齢者の社会参加を促進するための仕組みであるセカンドライフのプラットフォーム、住み慣れた地域で最期まで暮らせる環境づくりである在宅医療の推進、ライフステージに応じた住み替えを促進するための仕組みづくり等がありますが、基本方針に掲げている事業以外にも豊かな長寿社会を実現するための新たな取り組みを積極的に検討し、進めていきます。
- なお、地域ごとでの取り組みが必要な事業などは、モデル地域を設定して先行的に取り組み、モデル地域での実績を踏まえて全市域への展開を図ります。モデル地域としては、本市の全域の将来の人口状況が既に現れている地域として高齢化が高く、高齢者人口の多い地域として湘北、松林地区を設定しています。



※ モデル地域での先行実施を予定している事業

基本方針本編をご覧になりたい方は市役所市政情報コーナー又は市ホームページ(<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/machidukuri/1012621/1007942/index.html>)でご覧ください。

【事務担当】

茅ヶ崎市企画部企画経営課 長寿社会推進担当

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

Tel0467(82)1111(内線 2534) Fax 0467(87)8118 E-mail kikaku@city.chigasaki.kanagawa.jp